

1960年、ベルギーのアントワープに生まれたディルク・ブロッセは、多面性を持つ優れた作曲家であり、また指揮者としても重視され、国際音楽シーンで活躍を続けている。

アントワープ音楽院、ブリュッセル音楽院で音楽の道を歩み始め、続いてマーストリヒト、ウィーン、そしてケルンで指揮法を学んだ。客員教授として数多く招かれる傍ら、現在ベルギー王立アントワープ音楽院で作曲法と指揮法の教授を務める。

ディルク・ブロッセは、the Brussels Philharmonic、the Royal Flemish Philharmonic、the Orchestra of the Flemish Opera そして the National Orchestra of Belgium といったベルギー第一級のオーケストラ全てを指揮しており、本国以外では、**the London Symphony Orchestra**、the London Philharmonic Orchestra、the Royal Philharmonic Orchestra London、**l'Orchestre de la Suisse Romande**、the Philharmonic Orchestra of Shanghai、the Vancouver Opera、the KBS Symphony Orchestra (韓国)、**l'Orchestra de l'Opéra de Lyon**、the World Symphony Orchestra (日本)、**the Philadelphia Chamber Orchestra**、the Ulster Symphony Orchestra of Northern Ireland、the Camerata St. Petersburg、the Honk Kong Philharmonic、**the Rotterdam Philharmonic Orchestra** そしてヴェネズエラ、コロンビア、エクアドルの国立管弦楽団と、指揮者として招かれたオーケストラは枚挙にいとまがない。

ディルク・ブロッセは、多才で作品を豊富に生み出す作曲家である。200曲以上にもなる作品は、協奏曲、オラトリオ、歌曲、室内楽、交響曲を含み、広く世界で好んで上演プログラムに取り上げられ、作品が録音された国は40ヶ国以上に上る。彼の最も重要な作品には、ノーベル賞作家**ガルシア・マルケス**の協力を得て書かれた **La Soledad de América Latina**、管弦楽と民族楽器のための普遍的な交響曲 **Artesia**、エスノ・クラシック交響曲 **The Birth of Music**、オラトリオ **Juanelo**、歌曲集 **Landuyt Cycle** と **La vida es un Sueño**、クラリネットと管弦楽のための協奏曲 **War Concerto**、ヴァイオリン協奏曲 **Black, White & Between** と **Sophia** などがある。

それらに加えて、ディルク・ブロッセは演劇や映画に多くの音楽を提供して来た。最も良く知られたサウンドトラック作品には、Koko Flanel、Licht、ステイン・コーニクス監督の **de Kavijaks** と **Daens** (神父ダーンズ) (1993年アカデミー賞ノミネート)、マリアン・ハントウェルケルの **Marie**、マルティン・コールホーヴェンの **Knetter** (ゾウがお家にやって来た)、ジャック・フェイデル 1925年制作の無声映画 **Visage d'Enfants** などがある。ミュージカルでは、**Sacco & Vanzetti**、**The Prince of Africa**、世界的に知られるエルジェの漫画「タンタン」を基に書かれた **Tintin – The Temple of the Sun**、**Rembrandt, the Musical** そして **Musical Daens** などがあり、いずれも演出脚本家フランク・ヴァン・ラーケとの密接な共同作業により生まれている。

2007年、ディルク・ブロッセは**ロンドン交響楽団**を指揮し、**ロイヤル・アルバート・ホール**での「映画音楽の夕べ」に初出演した。このイベントにはエマ・トンプソンやケネス・ブラナーなどといった著名俳優がゲスト出演している。

ディルク・ブロッセは既に60を超えるCDを発表しており、アムステルダム・コンセルトヘボウ、ロンドンのロイヤル・フェスティバルホール、バービカン・ホール、ロイヤル・アルバート・ホール、ブリュッセルのモネ劇場、ジュネーヴのヴィクトリア・ホール、ソウル・アート・センター、東京フォーラム、上海コンサート・ホールといった世界的なホ

ールで客演指揮している。

また、**ジョセ・ヴァン・ダム**、フィリップ・ウェブ、**バーバラ・ヘンドリクス**、クラロン・マクファデン、**ジュリア・ミゲネス**、デレク・リー・ラギン、ザビネ・マイヤー、**ジュリアン・ロイド・ウェバー**、ダニエル・ブルーメンタール、**サルバトーレ・アカルド**といった世界的アーティストたちと共演しているが、音楽のジャンルを更に広げ、ジョン・ウィリアムス、トゥーツ・ティールマンス、ハンス・ツイマー、エルマー・バーンシュタイン、エマ・トンプソン、ケネス・ブラナー、ランディー・クロフォード、リサ・ジェラルド、メル・ブルックス、モラーヌ、シニード・オコナー、ビクター・ラズロ、モウリス・ジャレ、そしてユソー・ンドゥールとも共演している。

ディルク・ブロッセは「フランダース文化大使」の称号を得ており、またフランダース政府より功労を讃える **Gouden Erepenning** (金の名誉記章) を授けられている。ベルギーの作家、作曲家、出版社が組織する著作権協会 S A B A M の執行委員を務める他、独立系シンクタンク Itinera Institute 顧問委員、African Children's Choir の運営委員も務める。

ディルク・ブロッセの全音楽作品はCD化されています。

詳しい情報は：Eメール：contact@dirkbrosse.be または www.dirkbrosse.be をご参照下さい。

最終更新：2009年9月